

1 設置目的

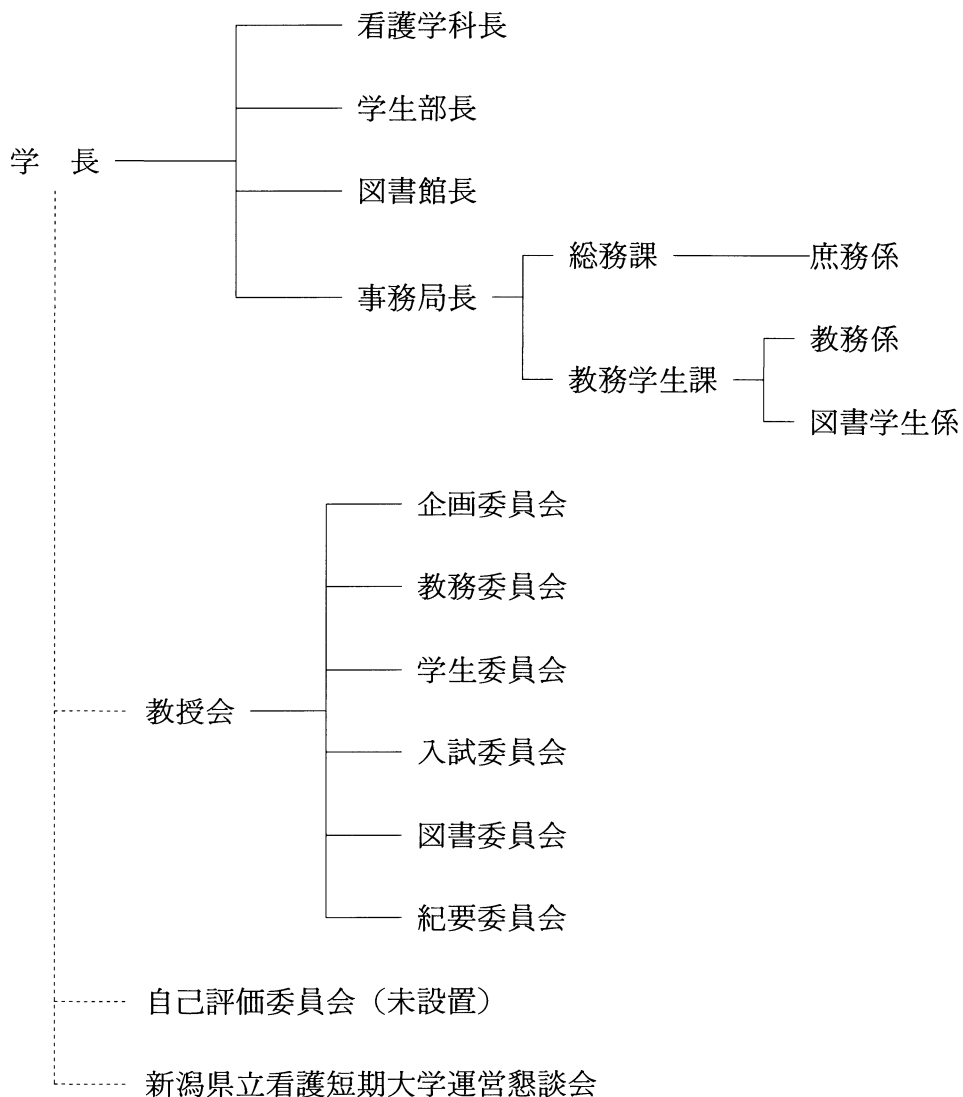
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成2年 6月 「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12月 「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成3年 3月 県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4月 県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5月 県立看護短期大学「上越市設置、平成6年4月開学」知事決定
- 7月 「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11月 「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成4年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5月 基本・実施設計完了
- 10月 校舎建設工事着工
- 平成5年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化
短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9月 看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12月 文部大臣より、短期大学設置認可
- 平成6年 1月 文部大臣より、看護婦養成学校指定
校舎建設工事完了
- 4月 新潟県立看護短期大学開学
第1回入学式挙行政
- 5月 開学記念式典挙行政
- 平成7年 3月 シンボルマーク制定
- 5月 第1回戴帽式挙行政
- 平成8年 3月 校歌制定

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任教員

(平成8年3月現在)

担 当	学 長	教 授	助教授	講 師	助 手	計
基 礎 科 目		1人	1人	1人		3人
専 門 基 礎 科 目	1人	1人	1人			3人
専 門 科 目		5人	3人	7人	12人	27人
計	1人	7人	5人	8人	12人	33人

イ 非常勤講師

(平成8年3月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 8人	上越教育大学 8人
専 門 基 礎 科 目 28人	上越教育大学 2人 県立新潟女子短期大学 1人 新潟大学医療技術短期大学部 1人 県立病院 11人 他の病院 4人 開業医 4人 その他 5人
計 36人	

ウ 事務局

(平成8年3月現在)

	局 長	課 長	係 長	主 任	主 事	嘱託員等	計
事 務 局	1人						1人
総 務 課		1人	1人	1人	2人	1人	6人
教務学生課		(1)	2人	1人	2人 司書1人	2人	8人
計	1人	1人	3人	2人	5人	3人	15人

※ () は兼務、総務課係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成8年3月現在)

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 Ⅱ 看 護 学 特 論
看護学科長	桑 野 タイ子	看 護 学 概 論 小 児 看 護 学 概 論
教 授	村 山 ヒサエ	母 性 看 護 学 概 論 母 性 看 護 学 保 健
〃	加 藤 光 寶	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 看 護 学 概 論
〃	小 野 澤 康 子	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 看 護 学 保 健
〃	田 中 キミ子	看 護 管 理 学 成 人 臨 床 看 護 学 Ⅱ

職名	氏名	主要担当科目
教授	杉田 収	生化学・化学 統計学
〃	中野 正春	解剖生理学Ⅲ 解病態
助教授	佐々木 美佐子	地域看護学実習 基礎看護学
〃	長野 勝	精神臨床看護学 精神臨床看護学
〃	関谷 伸一	生理解剖物生理学 解剖生理学
〃	水戸 美津子	老人看護学概論 老人看護学
〃	山本 誠一	臨床心理学 臨床心理学
講師	小林 ミチ子	成人臨床看護学Ⅰ 成人臨床看護学実習
〃	金子 史代	成人臨床看護学Ⅲ 成人臨床看護学実習
〃	秋山 啓子	小児臨床看護学 小児臨床看護学
〃	中村 博生	英語Ⅰ・Ⅱ 英語Ⅲ
〃	松永 保子	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
〃	山田 洋子	成人臨床看護学Ⅳ 成人臨床看護学実習
〃	水口 陽子	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
〃	村山 陵子	母性臨床看護学 基礎看護技術演習
助手	島村 澄江	基礎看護学実習
〃	渡邊 繁子	基礎看護学実習
〃	渡邊 典子	基礎看護学実習
〃	山田 正実	基礎看護学実習
〃	井口 ひとみ	基礎看護学実習
〃	飯吉 令枝	基礎看護学実習
〃	大久保 明子	基礎看護学実習
〃	宮越 幸代	基礎看護学実習

職名	氏名	主要担当科目
助手	桑原洋子	基礎看護学実習
〃	石澤信人	基礎看護学実習
〃	武田美津代	基礎看護学実習
〃	山際和子	基礎看護学実習

③ 非常勤講師名簿

(平成8年3月現在)

氏名	担当科目	所属等
藤澤郁夫	哲学	上越教育大学学校教育学部 教授
澁谷久	科学史	上越教育大学学校教育学部 教授
下西善三郎	文学	上越教育大学学校教育学部 助教授
安田尚	社会学特論Ⅳ 看護学	上越教育大学学校教育学部 助教授
神成嘉光	法学	上越教育大学学校教育学部 教授
若井彌一	教育学	上越教育大学学校教育学部 教授
中島大住	文化人類学	
長尾悟	国際関係論	東洋学園大学人文学部 助教授
西山保子	物理学	上越教育大学学校教育学部 助教授
前川幸雄	中国語Ⅰ・Ⅱ	上越教育大学学校教育学部 教授
砥堀雅信	保健体育(講義)	上越教育大学学校教育学部 教授
太田昌秀	保健体育(実技)	上越教育大学学校教育学部 教授
立屋敷かおる	栄養学	上越教育大学学校教育学部 助教授
真島和徳	臨床栄養学	新潟県環境保健部 管理栄養士
山口正俊	薬理学	県立柿崎病院 薬剤部長
重野直也	微生物学	新潟大学医療技術短期大学部 教授
高野諭	病態学Ⅰ	県立中央病院 内科部長

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
丸 山 雄一郎	病 態 学 I	県立中央病院 内科医長
小 林 理	病 態 学 I	県立中央病院 内科医長
佐 藤 健比呂	病 態 学 I	県立中央病院 内科医長
土 田 正	病 態 学 II	県立中央病院 診療部長
五十嵐 良 一	病 態 学 II	県立中央病院 皮膚科部長
阿 部 惇	病 態 学 II	県立中央病院 診療部長
植 木 淳 一	病 態 学 II	県立中央病院 内科医長
吉 岡 光 明	病 態 学 III	吉岡内科クリニック
太 田 昭 弘	病 態 学 IV	県立中央病院 眼科医長
安 田 誠 夫	病 態 学 IV	安田耳鼻咽喉科医院
佐 藤 昭 雄	病 態 学 IV	佐藤歯科医院
武 内 廣 盛	精 神 病 態 学	国立療養所犀潟病院 精神科医長
丸 橋 敏 宏	生 殖 病 態 学	県立中央病院 産婦人科部長
林 三樹夫	小 児 期 病 態 学	小児科はやしクリニック
川 室 優	老 年 期 病 態 学	常心荘川室病院 理事長
松 井 一 光	公 衆 衛 生 学	新潟県柏崎保健所 所長
荒 川 浩 和	関 係 法 規	新潟県にしき園 園長
大 村 紘 一	関 係 法 規	新潟県上越保健所 所長
西 脇 京 子	関 係 法 規	新潟県糸魚川保健所 所長
櫻 井 慶 一	社 会 福 祉 原 理 度 社 会 福 祉 制 度	県立新潟女子短期大学生活科学科 教授
山 崎 岐 男	放 射 線 医 学	厚生連村上総合病院 検診センター長
川 島 章 弘	情 報 科 学 概 論 情 報 科 学 演 習	上越教育大学学校教育学部 教授
林 茂 信	精 神 保 健	国立療養所犀潟病院 院長
村 川 英 三	看 護 学 特 論 III	県立中央病院 院長

④ 事務職員名簿

(平成8年3月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	一ノ関 昇 允
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	齋 藤 照 義
	副 参 事 (庶 務 係 長)	田 中 紀 夫
	主 任	渡 辺 克 一
	主 事	齋 藤 敏 和
	〃	中 村 美 和 子
	嘱 託 員	石 橋 広 子
教 務 学 生 課	教 務 係 長	星 野 正 彦
	主 任	鈴 木 登 美 子
	主 事	品 田 健 吉
	嘱 託 員	関 根 加 代 子
	図 書 学 生 係 長	寺 崎 茂
	主 事	樋 口 芳 子
	司 書	吉 原 貴 子
	日 々 雇 用 職 員	中 島 佳 代 子

⑤ 教職員の転出入一覧表

(転入者)

職 名	氏 名	前 所 属	年 月 日
教 授	川 崎 佳 代 子	東邦大学医療短期大学	8. 4. 1
事務局長	大 関 敏 夫	議 会 事 務 局	〃
教務係長	池 田 正 直	上 越 財 務 事 務 所	〃

(転出者)

職 名	氏 名	転 出 先	年 月 日
事務局長	一ノ関 昇 允	新潟東港用地事務所	8. 4. 1
教務係長	星 野 正 彦	県 立 妙 高 病 院	〃

4 施設の概要

- ・施設面積 40,072 m²
- ・建物面積 鉄筋コンクリート造3階建

校舎棟	8,781 m ²
体育館棟	1,323 m ²
計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン52台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

5 予算の状況

(単位：千円)

事業名	予算額	事業名	予算額	
教職員給与費	390,952	非常勤講師報酬等	11,473	
維持管理費	40,487	公開講座事業費	115	
運営費	運営費	実習指導者養成委託費	5,272	
	各種会議開催費			教員派遣事業費
	各種団体負担金			
事務費	入学試験費	共同研究事業費	3,800	
	図書館費			臨床実習指導費
	設備充実費	1,375		
教育研究費	23,825	校歌制定費	800	
		合 計	536,456	

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	入 学 式	4月 6日 (木)
	入学生ガイダンス	4月 7日 (金) ~ 4月 8日 (土)
	在学生ガイダンス	4月10日 (月)
	健 康 診 断	4月10日 (月)
	前期授業開始	4月11日 (火)
	開 学 記 念 日	5月 8日 (月)
	戴 帽 式	5月12日 (金)
	夏 季 休 業	7月11日 (火) ~ 8月31日 (木)
	前 期 試 験	9月18日 (月) ~ 9月27日 (水)
	補 講	9月28日 (木) ~ 9月29日 (金)
後 期	後期授業開始	10月 2日 (月)
	大 学 祭	11月25日 (土)
	冬 季 休 業	12月25日 (月) ~ 1月 7日 (日)
	後 期 試 験	2月13日 (火) ~ 2月23日 (金)
	補 講	2月26日 (月) ~ 3月19日 (火)
	春 季 休 業	3月21日 (木) ~ 3月31日 (日)

(2) 主要行事等の概要

① 戴帽式

5月12日（金）の看護の日に、笹川環境保健部次長、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第1回目の戴帽式が体育館で行われた。

桑野看護学科長から戴帽生（2年生）一人一人にキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸に会場で輪を作り、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、エントランスホールで教員や保護者を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

〈誓いの言葉〉

私達は ここにお集まりの皆様の前で
常に 前向きな姿勢で看護を追求し
日々努力していくことを誓います

私達は 常に 病める人々の立場に立ち
やさしさを忘れず
信頼される看護を目指します

私達は これからの看護を担う者として
高齢化社会 疾病構造の変化
医療の高度化に対応できる
幅広い看護の技を身につけます

私達は
保健医療チームの一員としての役割を果たすため
本学の学生であることを誇りとし
より一層 質の高い看護を目指して学び続けます

② 運営懇談会

開学後2回目の運営懇談会が平成7年11月28日に行われ、本学側からの概要説明後、ア 高校から看護短大への要望、イ 看護職員の現状と看護短大への要望、ウ 医療現場が求める看護職員、エ 大学公開の推進、オ 学生の自主活動の指導・育成、のテーマで意見交換を行った。

③ 校歌の制定

校歌の制作費用が予算化され、作詞は上越市在住で全国的に著名な児童文学者の杉みき子先生、作曲は上越教育大学で音楽を担当されている後藤丹先生に依頼し制定した。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性・合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは広い視野と柔軟な感性で病人に対応できる能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展や看護技術の向上に貢献できる研究的能力の基礎を養い、更に保健・医療・福祉チームの一員として関連職種と連携し共同して看護の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。

カリキュラムは大別すると基礎科目と専門基礎科目及び専門科目からなる。基礎科目及び専門基礎科目の多くは、1年次及び2年次で開講し、看護の対象となる人間を生物学的（医学的）・心理学的・社会学的側面から理解することと、専門科目につながる基礎的知識を教授する。

専門科目は、基礎看護学、成人看護学、老人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学があり、それぞれの科目には臨床実習科目が加わっている。専門科目は3年間にわたって開講するが、1学年から2学年前期まで及び3学年後期は主に講義、演習で教授し、2学年後期から3学年前期では病院・保健所・保育所などの施設で臨床実習を行った。

また、情報処理技術の習得を図るため、コンピュータ操作のオリエンテーションを入学時に行って各科目のレポート作成に活用し、更に統計学、情報科学概論及び演習、成人看護学実習Ⅲなどの科目で積極的にコンピュータによる授業を展開している。

(2) 臨床実習教育について

臨床実習科目は、看護教育カリキュラムでは重要な科目で、知識と実践を統合する学科目である。臨床現場での体験学習によって科学的な思考や判断能力を養い、看護基礎技術を習得し自主的・創造的な学習能力を啓発することを目標とする。

1期生の臨床実習教育を始めるに際し、臨床実習プロジェクトを組織し実習要綱を作成し実習指導方法を検討するとともに、実習施設との連絡調整などを行った。

なお、開学1年前から実習施設の看護基準の作成に参加するほか、院内教育に教員を派遣するなどして実習施設との連絡協調に努めた。

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成8年3月現在）

	県内	県外	合計
1年	81人	20人	101人
2年	78人	20人	98人
合計	159人	40人	199人

(2) 入学試験の状況

① 一般試験（募集人員 70人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成6年度	総数	573	441	106	70
	県内	363	297	73	49
	県外	210	144	33	21 (1)
平成7年度	総数	474	402	103	70
	県内	301	265	67	51 (2)
	県外	173	137	36	19
平成8年度	総数	645	548	110	70
	県内	355	314	61	46 (1)
	県外	290	234	49	24

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 推薦入試（募集人員 30人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
6 年 度	116	116	30	30
7 年 度	115	114	30	30 (1)
8 年 度	99	97	30	30 (1)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

(3) 奨学金等貸与の状況

(平成8年3月現在)

日 本 育 英 会			新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他県
一 種		二 種	県教育委員会 月額32,000円	県環境保健部医務薬事課 月額16,000円	山形県
自宅生	自宅外生	自宅外生			
7人	33人	13人	4人	26人	4人

(4) 心理相談（カウンセリング）

95年度4月より学生相談の一部門として、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が設置された。それに伴い心理相談専用の一室（「心理相談室」）が設けられ、本学教員（心理学担当：山本誠一）が心理相談担当として、カウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たることになり、96年で2年目に入る。毎週特定曜日、1日5回セッション（1セッション約50分）の予約制という原則のもとで行われており、青年期アイデンティティの問題や不安・学習意欲減退などの心理相談で利用され効果をあげている。

9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書等資料の整備方針

豊かな人間性を持つ看護職員の育成のため、一般教養・専門の分野にわたり質的・量的充実を図っている。

本学の特色である高齢化社会に対応できる看護専門職の育成のために必要な老人看護・地域看護・臨床栄養学・リハビリテーション・社会福祉の各分野の図書を充実し、専門書においては、教育・研究活動の支援並びに外国語読力の向上の観点から和書だけではなく、洋書についても質的・量的充実を進めている。

また、最新の医学・看護学の情報を提供するため、多数の内外の学術雑誌及び広い視野に立つ人間観の育成のため、一般雑誌を整備している。

更に、効果的な看護教育を行うため、可能な限り映像・音声教材の整備に努め、ビデオ・LD・CD・カセットにより、視聴のためのシステム整備を促進している。

また、収集、蓄積した研究資料、業績等を広く地域に開放・発信するために、学外者や現場で活躍する看護関係者の利用を進める等、地域における本学図書館の役割の達成にむけ努力している。

② 情報検索の効率化

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・学術情報センターとのオンライン文献検索 N A C S I S - I R
- ・県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借協定（図書）の締結
- ・各種CD-ROMによる検索

③ コンピュータの導入

多様化する図書館利用への要求に対応するため、次に掲げる図書館業務のコンピュータ化を導入している。

- ・貸出原簿 ・利用者登録 ・蔵書管理 ・図書検索 ・原簿、目録の印刷
- ・統計処理 ・会計処理

④ 開館時間延長の実施

本学の授業時間の配置及び学外実習後の利用を考慮し、利用者の利便性を高めるため、図書館の通常の開館時間を延長する必要があった。平成7年度は、試験的に実施したが、平成8年度から図書館の開館時間を次のとおりとする予定である。

月曜日から金曜日（大学の休業日を除く） 9：00～19：30
土曜日（祝祭日と大学の休業日を除く） 9：30～16：30

(2) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 数	視聴覚資料点数
総 記	4 2 6	3	0
哲 学	8 3 3	1	2 3
歴 史	4 2 6	1	1
社 会 科 学	2, 8 1 9	4	2 2
自 然 科 学	1 1, 3 3 1	1 1 3	2 8 2
技 術	3 1 3	0	2
産 業	7 3	4	0
芸 術	6 5 2	3	1 3 1
言 語	1, 0 8 8	1	1 5
文 学	1, 2 1 2	2	1 4
計	1 9, 1 7 3	1 3 2	
内 訳	和書 17,294	日本語 111	
	洋書 1,879	外国語 21	

(3) 図書館利用サービス状況

入 館 者 数		3 2, 9 4 0 人 (うち学外利用者数 4 2 1 人)	
館外貸出	学 生	2, 5 5 0 人	4, 2 7 1 冊
	教職員・その他	7 5 3 人	1, 4 4 8 冊
	計	3, 3 0 3 人	5, 7 1 9 冊
視 聴 覚 資 料		5 3 9 人	6 8 3 点

その他

- ① レファレンス 件数については不明
- ② 文献検索 CD-ROM検索・・・ 4 1 件
- ③ 複写業務 複写申し込み件数・・・ 1, 1 0 1 件
- ④ 相互貸借業務 他館への依頼・・・ 1 5 5 件

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

① 論文

題 名	氏 名	雑誌名・巻・頁	年	* 所 属
分娩第1期における産痛範囲のつば ば圧迫と和痛効果の研究	*高橋律子・川崎佳代子	日本助産学会誌 9(1),31-37	1995	小川赤十字病院産婦人科
上越市の水道水	杉田収・中野正春・関谷伸一ほか	新潟県立看護短期大学紀要 1, 1-8	1996	
化学発光による新しい水質検査法	杉田収・中野正春・関谷伸一ほか	新潟県立看護短期大学紀要 1, 9-12	1996	
HPLC application for phosphoinositides analyses of A431 cells and human platelets	*S. Kimura, O. Sugita et al.,	Acta Medica et Biologica 43(1),59-62	1995	昭和大医臨床病理
Effects of modified low density lipoprotein and hypoxia on the expression of endothelial leukocyte adhesion molecule-1	*M. Okada, O. Sugita et al.,	Press Medicine, 24, 483-488	1995	新大医 検査診断
Bisalbumin(fast and slow type) induced by human pancreatic juice	*S. Kobayashi, O. Sugita et al.,	Ann Clin Biochem, 32, 63-67	1995	長岡日赤病院 検査部
A new enzymatic method for the determination of inulin	O. Sugita et al.,	Ann Clin Biochem, 32, 561-565	1995	
保健婦教育における「母子保健教育」の教育計画に関する研究	*大野絢子・佐々木美佐子ほか	群馬大学医療技術短期大学部紀要 15,37-50	1995	群大医技短 看護学科

保健婦の母子保健指導にかかわる教育のあり方に関する研究	*大野絢子・佐々木美佐子ほか	厚生省心身障害研究 平成5年度 264-277	1995	
保健婦の母子保健指導にかかわる教育のあり方に関する研究	*大野絢子・佐々木美佐子ほか	厚生省心身障害研究 平成6年度 229-236	1996	
「高齢者の性」に関する研究(1) “老いのイメージ”と“高齢者の性”のとらえ方	水戸美津子・桑原洋子・秋山啓子・島村澄江・渡邊典子	新潟県立看護短期大学紀要 1,13-23	1996	
青年期の自己実現(個性化)志向に関する不安―「自分らしさ」の発現による2種不安―	山本誠一	新潟県立看護短期大学紀要 1,25-33	1996	
看護学生の自我同一性に関する研究 その1 ―因子構造の学年別比較―	*森田敏子・松永保子ほか	岐阜大学医療技術短期大学部紀要2,1-9	1996	岐大医技短 看護学科
看護学生の自我同一性に関する研究 その2 ―職業的同一性形成における因子構造に及ぼす要因の学年別比較―	*松田好美・松永保子ほか	岐阜大学医療技術短期大学部紀要2,10-21	1996	愛知県立看護大 看護学科

② 著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集 著者名	分担執筆の題名	出版社 分担執筆の頁	地名	年
看護婦業務検討	日本看護協会看護 職能委員会編・ <u>桑野タイ子</u> 著	安全性のための技術	日本看護協会 221-229	東京	1995
シリーズベッド サイドマニュアル 小児看護	<u>桑野タイ子</u> 監・編 ・著	総論	中央法規出版 10-20	東京	1995

新看護学 6	東晃・阿部篤子・ 江原皓吉・加藤光 寶・小林ミチ子ほ か	運動器疾患患者の看 護 第1章 基礎知識 第2章 おもな疾患	医学書院 155 163-169	東京	1996
系統看護学講座 専門9 成人看護 学 6	金子光・小林富美 枝・五十嵐三都夫 ・石田肇・加藤光 寶・佐藤嘉代子・ 佐藤育徳	運動器疾患患者の看 護	医学書院	東京	1995
標準看護学講座 母性看護学30	吉田時子ほか監、 西島正博ほか編、 川崎佳代子ほか著	女性の心の発達 食生活と健康 運動・活動と健康	金原出版 87-88 92-98 99-101	東京	1995
正常値と異常値 の間	屋形稔・杉田収著	LDHおよびLDH アインザイム アミラーゼおよびア ミラーゼアインザイ ム リパーゼ	中外医学社 412-415 427-430 431-432	東京	1995
今日の整形外科 治療指針第3版	山内裕雄ほか編、 中野正春著	乳児期の整復困難な 先天性股関節脱臼 乳児期の亜脱臼、臼 蓋形成不全	医学書院 616-617 618-619	東京	1995
抹消神経解剖学	佐藤達夫監、関谷 伸一著	ヒラメ筋の神経支配	サイエンス・ コミュニケー ションズ・イ ンターナショ ナル 225-230	東京	1995
内科系 実践的 看護マニュアル	川島みどりほか編 水戸美津子ほか著	意識障害	看護の科学社 377-386	東京	1995

リハビリテーションと看護—その人らしく生きるには—	佐々木日出男ほか 監、 <u>水戸美津子</u> ほか著	高齢者の生活と看護 内部障害をもつ人と リハビリテーション 看護腎不全の人のリ ハビリテーション看 護	中央法規出版 146-156 223-224 234-242	東京	1995
学校カウンセリング辞典	真仁田昭ほか編、 <u>山本誠一</u> ほか著	Ⅱ 心理学的基礎 英才 自我同一性拡散 自我同一性地位 時間的展望 思春期危機 成熟拒否 マージナルマン（周 辺人、境界人） ライフサイクル	金子書房 19 111 111 113 121 178 278 298	東京	1995
新看護学6成人看護〔2〕	<u>小林ミチ子</u> ほか著	運動器疾患患者の看護	医学書院 224-231	東京	1995
KLAR Visual Textbook 成人看護3	<u>松永保子</u> ほか著	歯・口腔疾患の理解と看護	医学芸術社 204-219	東京	1996

③ 学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発 表 年 月 日	発 表 地
女性における冷え症の研究 (第3報)—新潟市および 周辺地域に住む女性の冷え の部位と苦痛の実態—	佐藤悦・ <u>村山</u> <u>ヒサエ</u> ほか	第36回日本母性衛 生学会学術集会	1995 9.21	京 都 市
女性における冷え症の研究 (第4報)—新潟市および 周辺地域に住む女性の冷え 症と身体症状の関係—	高橋美恵子・ <u>村山ヒサエ</u> ほ か	第36回日本母性衛 生学会学術集会	1995 9.21	京 都 市

ドック受診者の検査所見に及ぼす心理的・社会的影響	吉田桐子・加藤光寶ほか	人間ドック学会	1995 8.24	仙台市
外来予約カードに対する改善—患者にわかりやすい予約カードを作る	金子文恵・加藤光寶ほか	東京都看護協会看護研究学会	1995 11.28	東京都
心臓血管造影後の安静時間における苦痛の検討—STAIによる質問紙を用いて—	大山かおり・加藤光寶ほか	第15回関東甲信越地区看護研究学会	1995 12. 6	浦和市
骨粗鬆症外来患者の骨塩量測定 Microdensitometry (MD)法と定量的X線CT法 (QCT法) との比較	戸村茂男・田中キミ子ほか	日本公衆衛生学会	1995 7.15	山形市
クメンヒドロペルオキシドを用いたヒト血清坑酸化能の測定	杉田収ほか	第42回日本臨床病理学会	1995 11.17	宇都宮市
新任保健婦指導体制の現状と課題	佐々木美佐子	日本看護学会 (看護教育)	1995 8.17	東京都
保健婦教育における「母子保健指導教育」に関する研究—保健婦教育機関単位の意見交換を実施して」	大野絢子・佐々木美佐子ほか	第54回公衆衛生学会	1995 10.13	山形市
動脈の分岐異常が多発した1例	関谷伸一ほか	日本解剖学会	1995 4. 3	東京都
皮膚血流の研究—体位変換による最大血流変動量ならびに安定血液量の変化—	松永保子ほか	第21回日本看護研究学会学術集会	1995 7.26	札幌市
看護学生の自我同一性に関する研究—入学決定時期・入学動機・看護への構えなどが因子に及ぼす影響—	森田敏子・松永保子ほか	第21回日本看護研究学会学術集会	1995 7.26	札幌市

看護学生の自我同一性に関する研究 —因子構造の学年別比較—	松田好美・松永保子ほか	第21回日本看護研究学会学術集会	1995 7.26	札幌市
看護学生の自我同一性に関する研究（第3報） —衛生看護高校における調査—	松永保子ほか	日本応用心理学会第62回大会	1995 9.8	東京都
妊婦の循環器系に及ぼす呼吸法の影響	村山陵子・渡邊典子・村山ヒサエ	第22回新潟母性衛生学会学術集会	1995 11.18	新潟市

④ 総説

題 名	氏 名	雑 誌 名 ・ 巻	年
小児看護の中での「抑制」	桑野タイ子	看護教育36・13 1145-1149	1995
女性における冷え症の実態 <文献的考察>	村山ヒサエほか	漢方の臨床42・5 32-55	1995
モニタリングの看護への生かし方	小野澤康子	臨床看護21 605-610	1995
看護物語からの学び⑭	長野勝	心の看護15 75-84	1995
看護物語からの学び⑮	長野勝	心の看護16 39-47	1995
看護物語からの学び⑯	長野勝	心の看護17 41-48	1995
看護物語からの学び⑰	長野勝	心の看護18 63-71	1995
老人看護では「抑制」をどのように考え、教えているか	水戸美津子	看護教育36・13 1141-1144	1995

(2) その他報告・随想等

題 名	氏 名	掲 載 雑 誌 そ の 他	年
朝の随想	桑野タイ子	NHK新潟放送局 4/7-9/29 月1回	1995
いまどきの困った上司	加藤光寶	ナース専科15・12/9 52-53	1995
自立意識を持とう	杉田収	検査と技術23・7 480	1995
ねたきり老人をつくらないために	中野正春	平成7年度 生涯大学システムー大学連携講座高齢者の健康づくりと介護 <レポート集>	1995
ゆとりある介護のための四ヶ条	佐々木美佐子	平成7年度 生涯大学システムー大学連携講座高齢者の健康づくりと介護 <レポート集>	1995
老人看護実習の場について	水戸美津子	Quality Nursing 1・5 48	1995
「お世話になる」「お世話する」ということ	水戸美津子	Quality Nursing 2・2 63	1995
とまどい…「地方」で仕事をして	水戸美津子	Quality Nursing 2・3 48	1996
連携講座を終えてネットワークづくりを	水戸美津子	平成7年度 生涯大学システムー大学連携講座高齢者の健康づくりと介護 <レポート集>	1995
1995年版看護婦（士）国家試験問題・解答・解説	水戸美津子	日本看護協会出版会 12-13、22-23、24-25、36-37、38-39、50-51、52-53、54-55、84-85、92-93	
「こころ」の揺れを感じ、様々な思い各自の胸に	山本誠一	朝日新聞新潟版（朝刊） 12/9 26頁	1995

修了生からの手紙 —動機を大切に—	中村博生	「大学院だより」 上越教育大学大学院 41 11/25	1995
Practice makes perfect!	松永保子	Quality Nursing 1・10 51	1995
Practice makes perfect! (part2)	松永保子	Quality Nursing 2・3 58	1996
おはよう上越—健康ライフ	島村澄江 渡邊典子 井口ひとみ 宮越幸代 桑原洋子	上越市有線放送 月1回 1人 2～3回 6/4-7/3	1995

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
私の看護論	桑野タイ子	静岡県看護教員講習会	1995 6.30	静岡市
実習指導事例の検討	桑野タイ子	新潟県臨床実習指導者研修会	1995 7. 7	新潟市
臨床看護実習の実際	桑野タイ子	准看護婦教育協議会新潟支部	1995 8.17	新潟市
事例検討の効果的なもち方	桑野タイ子	厚生連長岡中央総合病院	1995 9.20	長岡市
実習指導の原理	桑野タイ子	新潟県実習指導者養成講習会	1995 9.22	新潟市
専門職	加藤光寶	新潟県看護協会職能集会	1995 4.28	新潟市
臨床指導の実際	加藤光寶	新潟県臨床実習指導者研修会	1995 7. 3	新潟市

臨床指導の方法	加藤光寶	看護協会支部研修会	1995 8.11	新潟市
臨床指導	加藤光寶	厚生連長岡中央総合病院	1995 8.11	長岡市
看護診断の概念を学ぶ	加藤光寶	十日町病院看護部	1995 9.2	十日町市
臨床指導の方法（評価含む）	加藤光寶	新潟県実習指導者養成講習会	1995 9.13 ～ 10.4	新潟市
看護過程	加藤光寶	柿崎病院看護部研修会	1995 10.11	柿崎町
看護業務の取り組みと連携	加藤光寶	看護協会中越支部研修会	1995 10.14	新津市
職場の活性	加藤光寶	新潟市民病院看護部研究会	1995 10.27	新潟市
看護職の一人として成長していこう	加藤光寶	県立中央病院看護学校	1996 2.7	上越市
援助するということ	加藤光寶	坂町病院看護部研修会	1996 2.28	坂町
健康と飲料水	杉田収	生涯学習（どんごろ会）	1995 7.20	上越市
骨粗鬆症を防いで腰痛をなくそう	中野正春	上越市楽らく講演会	1996 3.7	上越市
業務の評価—効果的な事業の運営と展開—	佐々木美佐子	保健婦業務研修会	1995 7.13	巻町
面接の技術—理論と実際—	佐々木美佐子	訪問看護婦養成講習会	1995 8.3 8.8 8.11	新潟市 新潟市 長岡市

地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	養護教育実践研究	1995 12.15	新潟市
在宅ケア・訪問看護における 病院と地域の連携	佐々木美佐子	在宅ケア推進研修 会	1996 2.28	糸魚川 市
臨床における看護研究	佐々木美佐子	新潟県看護協会	1996 3.2	新潟市
看護研究(1)	長野勝	国立療養所犀潟病 院	1995 6.21	大潟町
看護研究(2)	長野勝	国立療養所犀潟病 院	1995 7.5	大潟町
看護研究(3)	長野勝	国立療養所犀潟病 院	1995 9.6	大潟町
実習指導の実際(講義、演習) (成人看護実習(精神))	長野勝	新潟県実習指導者 養成講習会	1995 9.29 ～ 10.19	新潟市
精神科におけるリーダーシッ プ	長野勝	日本精神科看護技 術協会新潟県支部	1995 11.9 ～ 11.10	新潟市
臨床看護研究のすすめ方	水戸美津子	篠の井総合病院看 護部	1995 6.30	長野市
グループワークとKJ法	水戸美津子	東邦大学医学部附 属佐倉病院看護部	1995 9.15	佐倉市
リーダーに求められる役割	水戸美津子	東邦大学医学部附 属佐倉病院看護部	1995 9.20	佐倉市
臨床看護研究の実際	水戸美津子	篠の井総合病院看 護部	1995 7.20 ～ 1996 3.8	長野市
臨床指導の実際(講義、演習) (成人・老人看護実習)	水戸美津子	新潟県実習指導者 養成講習会	1995 9.28 ～ 10.19	新潟市
臨床指導の実際(演習) (成人看護実習(急性))	小林ミチ子	新潟県実習指導者 養成講習会	1995 10.6 ～ 10.19	新潟市

臨床指導の実際（演習） （成人看護実習（慢性））	金子史代	新潟県実習指導者 養成講習会	1995 10. 6 ～ 10.19	新潟市
-----------------------------	------	-------------------	-----------------------	-----

(4) 学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
桑野タイ子	日本看護研究学会評議員 第15回日本看護科学学会企画委員	平成5年～ 平成7年～
杉田収	日本電気泳動学会評議委員 日本自動化学会評議委員 生物試料分析学会評議委員 日本臨床病理学会評議委員 日本臨床化学会評議委員 日本臨床病理学会臨床化学専門部会世話人 日本臨床化学会甲信越支部新潟地区代表幹事	昭和50年～ 昭和50年～ 平成3年～ 平成3年～ 平成4年～ 平成5年～ 平成7年～
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会委員	平成8年～
佐々木美佐子	社団法人新潟県看護協会看護管理企画委員	平成5年～
小林ミチ子	社団法人新潟県看護協会上越地区協会職能委員教育委員	平成8年～
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事 国際教育交換会協議会（C I E E）新潟同好会研修幹事	昭和62年～ 昭和56年～

(5) 科学研究費による研究

研究種目	研 究 課 題 名	本学研究者	研究代表者所属	期 間
厚生省心身 障害研究	市町村における母子保健事業 の効率的実施に関する研究	佐々木美佐子	国立公衆衛生院	平成 6～8年

(6) 教員海外研修

開学時から要望のあった教員の海外派遣事業が予算化され、7年度は2人の教員が派遣された。

- ・佐々木美佐子 「最新保健医療福祉活動の視察」
H7.8.27～9.7 デンマーク（ヘルシノオ市複合ケアセンター等）スウェーデン（アッカ地域診療所等） イギリス（イーリング地区保健当局等）
- ・小林ミチ子 「看護教育研修の視察」
H7.10.7～10.15 アメリカ（ミシガン州立大学看護学部）

(7) 共同研究

この事業も7年度から予算化され、学内教員を主体とするグループにより3テーマについて開始された。

テーマⅠ「在宅要介護者の看護ニーズと在宅ケアサービスの効果に関する研究」

研究者：佐々木美佐子 飯吉令枝 桑野タイ子 小野澤康子
水戸美津子 金子史代

研究期間：2年

テーマⅡ「化学発光法による飲料水中の活性酸素様物質の測定」

研究者：杉田収 中野正春 関谷伸一 佐藤一範（県立中央病院）
岡田正彦（新潟大学医学部）

研究期間：3年

テーマⅢ「末梢神経における神経束叢の3次元立体構築」

研究者：関谷伸一 中野正春 熊木克治（新潟大学医学部）
関谷政雄（県立中央病院）

研究期間：3年

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」

基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。

- ・受講者 40人
- ・日程及び内容

日	時 間	内 容	講 師
8/23 (水)	9:00～9:30 9:30～10:30 10:40～12:00 12:00～13:00 13:00～16:00	開講式 学長あいさつ 講師紹介 オリエンテーション 「臨床看護婦と看護研究」 「看護研究の方法」 昼食 コンピュータ操作の基礎	教授 桑野タイ子 教授 加藤光寶 信越情報システム(株) 曾田耕一氏 コンピュータ助手
8/24 (木)	9:00～10:00 10:00～12:00 12:00～13:00 13:00～16:00	HALBAUの操作 看護診断アンケートの データ入力・集計 (グループワーク) 昼食 グループワーク コンピュータによるデータの解析	教授 小野澤康子 各担当講師 1G～5G
8/25 (金)	9:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:00 14:00～15:30 15:45～16:00	グループワーク データの集計と解析・検討 報告書作成 昼食 グループのまとめ 全体討議：公開講座 閉講式	各担当講師 1G～5G 教授 桑野タイ子

グループワーク及びコンピュータ使用の指導にあたった教員

1 G 桑野教授・村山教授・山際助手

2 G 加藤教授・飯吉助手

3 G 小野澤教授・大久保助手

4 G 田中教授・石澤助手

5 G 水戸助教授・村山講師・山田助手

その他 島村助手・渡辺（典）助手・桑原助手・宮越助手・武田助手

② 一般公開講座

- ・テーマ 「新型つつが虫病について」
- ・講演 学長 斎藤 秀晃
- ・受講者 60人
- ・日程 平成7年11月25日（土）午前11時～12時
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室
- ・内容 つつが虫病は新潟、山形、秋田の三県にまたがる風土病であり、昭和30年以前には、信濃川、阿賀野川、最上川、雄物川の流域で夏期に多発した。明治時代より、世界の学者がこの病気の原因解明を行い、昭和に入ってから、その原因が判明し、戦後になって治療薬の製造に成功した。ところが、つつが虫は前述の三県だけではなく、日本全土に拡がっていることがわかり、しかも川の流域ではなく、山や野にも発生することより、この型のものに対して、新型つつが虫と呼称されるようになった。

(2) 大学等連携講座

- ・概要 大潟町から「在宅老人介護（看護）」に関する講座の希望があり、講師として教員を派遣し、7回の講座を開いた。
- ・日程 平成7年5月18日（木）から6月29日（木）の内7日間
- ・会場 大潟町カントリーコア

(3) 施設の開放

県立短期大学という公的な施設として「開かれた大学」を目指し、特に本学と関わりの深い看護関係団体に主として施設の開放を行った。

- ・新潟県看護協会 看護管理者研修会（ファーストレベル44人）第4講義室、第2合同講義室、情報科学教室ほか

平成7年9月9日（土）から平成8年1月26日（金）延べ8日

12 学生自治会 《平成6年5月30日 設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』を開催 平成7年11月25日(土) 来校者600人

- ・テーマ展示 「患者体験」「人体図鑑」「健康チェック」
- ・一般公開講座 「新型つつが虫病について」
- ・「ビデオシアター」 共催「献血事業」

(2) サークル活動

サークル名	参加者数	サークル名	参加者数
バドミントン	32	バスケットボール	14
ソフトテニス	13	水泳(ダンス)	6
テニス	29	スキー・温泉	43
バレーボール	26	軽音楽鑑賞	5
水研究会	10	ソフトボール	10
ボランティア	15	オールラウンド	10

資 料

主要行事日誌

4月3日(月)	辞令交付…教員11人採用、事務職員1人転任
6日(木)	第2回入学式
7日(金)～8日(土)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
10日(月)	在学生ガイダンス、学生健康診断
11日(火)	前期授業開始
19日(水)	定期監査(書記)
25日(火)	定期監査(委員)
5月8日(月)	開学記念日
12日(金)	第1回戴帽式
18日(木)	大学等連携講座開始
30日(火)～31日(水)	全国公立短期大学協会第45回通常総会…松山市で開催 齋藤学長、一ノ関事務局長出席
6月23日(金)	消防計画に基づく総合訓練実施
24日(土)	学生球技大会…バレーボール、バドミントン、バスケットボール
7月1日(土)～2日(日)	2年生保健体育(実技)集中授業…国立妙高少年自然の家で実施
4日(火)、5日(水)	1年生食事介助実習
6日(木)	大学説明会…県内の高校42校参加
10日(月)～11日(火)	2年生保健体育(実技)集中授業…学内で球技
11日(火)～12日(水)	第23回全国公立短期大学協会医療看護系協議会…彦根市で開催 齋藤学長、加藤教授、小野澤教授出席
11日(火)～8月31日(木)	夏季休業
8月23日(水)～25日(金)	専門公開講座
9月18日(月)～27日(水)	前期試験
28日(木)、29日(金)	1年生解剖見学(解剖生理学)…新潟大学医学部で人体解剖見学
28日(木)～29日(金)	学長・事務局長会議…県立新潟女子短期大学と開催
10月2日(月)	後期授業開始
6日(金)	年報第1号発行
12日(木)	全国公立短期大学協会平成7年度第2回学長会…国立教育会館で開催 齋藤学長出席
25日(水)～27日(金)	第33回全国厚生補導研究集会…山口市で開催 中野学生部長出席
11月13日(月)～17日(金)	推薦入試願書受付…応募者99人
16日(木)～17日(金)	第56回全国公立短期大学協会関東ブロック会議…立川市で開催 齋藤学長出席

25日(土)	大学祭、一般公開講座
28日(火)	第2回大学運営懇談会
12月10日(日)	推薦入試…受験者97人
15日(金)	推薦入試合格発表…合格者30人
12月25日(月)～1月7日(日)	冬季休業
1月16日(火)～22日(月)	一般入試願書受付…応募者 645人
2月13日(火)～23日(金)	後期試験
18日(日)	一般入試…受験者 548人
22日(木)	2年生調理実習(臨床栄養学)
26日(月)	研究生の選考
27日(火)	一般入試合格発表…合格者 110人
29日(木)	紀要第1号発行
3月4日(月)	校歌制定
21日(木)～31日(日)	春季休業
22日(金)	進級判定会議

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- 第1回(7.4.3)
- 各委員会の構成員決定
 - 紀要投稿規程の審議
 - 専攻科設置準備プロジェクトチームの設置
- 第2回(7.5.1)
- 各委員会正副委員長の選出
 - 教育研究費及び教材費の配分
 - 学生募集要項について
 - 図書館の開館時間延長について
 - 紀要執筆要項について
 - 戴帽式の実施について
- 第3回(7.5.19)
- 学生指導について
- 第4回(7.6.5)
- 教員海外派遣制度について
 - 公開講座について
 - 授業料の減免及び奨学金
 - 一般入試の試験会場について
 - 大学説明会について
 - 紀要執筆要項について
 - 年報の内容(項目)について
- 第5回(7.7.3)
- 学生募集要項について
 - 図書館利用規程の改正案
- 第6回(7.9.4)
- 学則の改正について
 - 校歌の募集について
 - 前期試験の時間割について

- 第7回 (7.10. 2)
 - 学籍簿等の様式について
 - 非常勤講師予定者について
 - 9年度及び10年度大学入学者選抜における旧教育課程履修に対する経過措置について
- 第8回 (7.11. 6)
 - 学生の休学について
- 第9回 (7.12. 4)
 - 学年暦について
- 第10回 (7.12.14)
 - 推薦入試合格者の決定
- 第11回 (8. 1. 8)
 - 教員審査委員会の設置
 - 教材費（保留分）の配分
 - 後期試験の時間割について
 - 学生の退学について
- 第12回 (8. 2. 5)
 - 学長選考規程について
 - 学則の改正について
 - 授業時間割について
 - ガイダンス、健康診断について
 - 非常勤講師の変更について
 - 研究生の選考について
- 第13回 (8. 2.26)
 - 一般入試合格者の決定
- 第14回 (8. 3. 4)
 - 8年度研究生合格者の決定と指導教員の指定について
 - 学生部長及び図書館長選考規程について
 - 8年度各委員会の委員の改選
 - 校歌の制定について
 - 学生ガイダンスの実施計画
- 第15回 (8. 3.22)
 - 進級判定について
 - 学生の退学、復学について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第1回 (7. 4.17)
 - 正副委員長の選出
 - 平成7年度の教員研究費の配分
 - 平成7年度の教材費の配分
- 第2回 (7. 5.15)
 - 教員研究員海外派遣制度について
 - 平成7年度の公開講座について
 - 学長選考規程、学科長選考規程
- 第3回 (7. 6.12)
 - 校歌の制定
- 第4回 (7. 7.10)
 - コンピュータ部会
 - 校歌の制定
 - 学則の改正
 - 8年度要求教育用備品
 - 7年度の一般公開講座
- 第5回 (7. 9.11)
 - 学長選考規程
 - 学科長選考規程

- 8年度教育用備品の要求希望
 - 一般公開講座
 - 留学生等交流推進会議
- 第6回 (7.10. 9)
 - 学長選考規程
 - 校歌の制定
 - 大学だより (仮称)
 - 学生の就職指導
 - 8年度新規要求事業
 - 教員研究費の費目区分
- 第7回 (7.10.31)
 - 校歌の制定
 - 8年度予算要求
 - 大学施設 (主に図書館) の開放
 - コンピュータ部会の構成員追加
- 第8回 (7.11.13)
 - 学長選考規程
 - 大学だより (仮称)
 - 災害時等の対応に関する内規
- 第9回 (7.12.18)
 - 学長選考規程
 - 教材費 (保留分) の配分
 - 本学の休業日
- 第10回 (8. 1.22)
 - 学長選考規程
 - 休業日の変更 (学則第7条の改正)
 - 自然災害時の対応に関する内規
- 第11回 (8. 2.14)
 - 学科長選考規程
 - 学生部長、図書館長選考規程
 - 学生の進路指導体制
 - 8年度各委員会の委員の改選
- 第12回 (8. 3. 4)
 - 校歌の制定
- 第13回 (8. 3.11)
 - 学生の進路指導体制
 - 専攻科設置時の学内組織
 - 戴帽式

② 教務委員会

- 第1回 (7. 4. 5)
 - 委員長、副委員長選出
 - 定例会
 - 非常勤講師
 - 成績評価に関する申し合わせ事項
- 第2回 (7. 4.11)
 - 平成7年度教務委員会活動予定
 - 成績簿
 - 「成績評価の申合せ事項」にもとづいた検討
- 第3回 (7. 5. 9)
 - 成績簿
- 第4回 (7. 6.13)
 - 成績簿
- 第5回 (7. 7. 4)
 - 臨時試験の監督

- 第6回 (7. 9.12)
 - ・卒業見込証明書 (案)、卒業証明書 (案)
 - ・学籍簿 (案)、成績簿 (案)
 - ・関係法規の講師変更
 - ・平成8年度非常勤講師予定者名簿
 - ・病態学Ⅰ、Ⅱの評価
 - ・不合格科目を持つ学生
 - ・体育の集中講義
 - ・学生便覧に「準学士を与える」という項目がないことについて
- 第7回 (7.10.30)
 - ・前期試験の中間報告
 - ・複数教員が担当する教科 (主に病態学) の成績判定
 - ・成績簿 (案)
- 第8回 (7.11.14)
 - ・平成8年度学年暦
 - ・平成8年度講義概要の検討
- 第9回 (7.12.12)
 - ・平成7年度後期試験日程の確認
 - ・成績簿 (案)
- 第10回 (8. 1.23)
 - ・平成8年度授業時間割の確認
- 第11回 (8. 2.14)
 - ・平成8年度授業時間割
 - ・臨床栄養学 (2年生) の調理実習
 - ・成績簿 (案)
- 第12回 (8. 3.12)
 - ・平成8年度ガイダンス
 - ・成績簿 (案)
 - ・3年生実習ガイダンス
- 第13回 (8. 3.19)
 - ・進級判定会議前の成績検討

③ 学生委員会・学生指導会議

【 学生委員会 】

- 第1回 (7. 4.21)
 - ・委員長、副委員長を選出
 - ・「食堂委員会」の構成員について
 - ・保健室の管理について
 - ・「心理相談」の実施について
- 第2回 (7. 5.16)
 - ・日本育英会奨学生の選考・授業料の減免審査
- 第3回 (7.11.20)
 - ・平成8年度入学生ガイダンス実施概要検討
 - ・平成7年度「大学祭」の実施について
- 第4回 (7.12. 8)
 - ・平成8年度入学生ガイダンス実施計画の検討
 - ・学生の疾病時の対応について
 - ・平成7年度「大学祭」の総括について
- 第5回 (8. 2.15)
 - ・平成8年度入学生ガイダンス詳細計画
 - ・サークル活動の学外者の参加について
 - ・学生の喫煙について

【 学生指導会議 】

- 第1回 (7. 4. 6)
 - ・組織の運営について

- 第2回 (7. 5. 1) • 専門相談（健康・心理）の方針
- 第3回 (7. 6.15) • 学生の状況について
- 第4回 (7. 9. 4) • 学生の状況について
- 第5回 (7.10. 2) • 健康診断結果後の指導について
- 第6回 (7.11. 6) • 学生の状況と出席状況
- 第7回 (7.12. 5) • 学生の状況と出席状況
- 第8回 (8. 1. 8) • 交通安全指導について
- 第9回 (8. 3. 4) • 学生の状況と出席状況
- 第10回 (8. 3. 4) • 年末の防犯および交通事故防止について
- 第11回 (8. 1. 8) • 学生の状況と出席状況
- 第12回 (8. 3. 4) • 学生の状況と出席状況と年度の反省

④ 入試委員会

- 第1回 (7. 4.10) • 委員長、副委員長、書記について
- 第2回 (7. 4.24) • 今後のスケジュール
- 第3回 (7. 5. 1) • 入試全体の草案
- 第4回 (7. 5.12) • 入試委員会スケジュール
- 第5回 (7. 5.29) • 入試全体の草案
- 第6回 (7. 6.26) • 平成8年度学生募集要項（案）
- 第7回 (7. 8.31) • 大学説明会（案）
- 第8回 (7. 9.11) • 学校案内パンフレット（案）
- 第9回 (7.10. 3) • 大学説明会（案）
- 第10回 (7.10.12) • 学校案内パンフレット（案）
- 第11回 (7.11. 8) • 募集要項の変更
- 第12回 (7.11.21) • 大学説明会の資料と準備
- 第13回 (7.11.22) • 入試実施委員会の日程
- 第14回 (7.12. 4) • 報告事項
- 第15回 (7.12. 7) • 入試実施委員会の日程
- 第16回 (7.12.10) • 入試の日程
- 第17回 (7.12.12) • 旧教育課程履修者に対する経過措置について
- 第18回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験実施要項（案）の作成
- 第19回 (7.12.13) • 旧教育課程履修者に対する経過措置について
- 第20回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験実施要項（案）の検討
- 第21回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験実施要項（案）の検討
- 第22回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験実施要項（案）の検討
- 第23回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験実施要項（案）の決定
- 第24回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験の監督員、誘導員について
- 第25回 (7.12.13) • 推薦入学者選考予備審査
- 第26回 (7.12.13) • 推薦入学者選考試験日
- 第27回 (7.12.13) • 推薦選考判定表（合格者判定原案）の作成
- 第28回 (7.12.13) • 推薦選考判定表の決定

- 第19回 (7.12.15) ・推薦入学合格者発表
- 第20回 (7.12.19) ・一般入学者選考試験実施要項(案)の検討
- 第21回 (8. 1.24) ・一般入学者選考試験実施要項(案)の検討
- 第22回 (8. 1.30) ・一般入学者選考試験実施要項(案)の決定
- 第23回 (8. 2. 9) ・一般入学者選考試験実施要項全体の説明
- 第24回 (8. 2.18) ・一般入学者選考試験日
- 第25回 (8. 2.23) ・一般選考判定資料作成
- 第26回 (8. 2.27) ・一般入学合格者発表

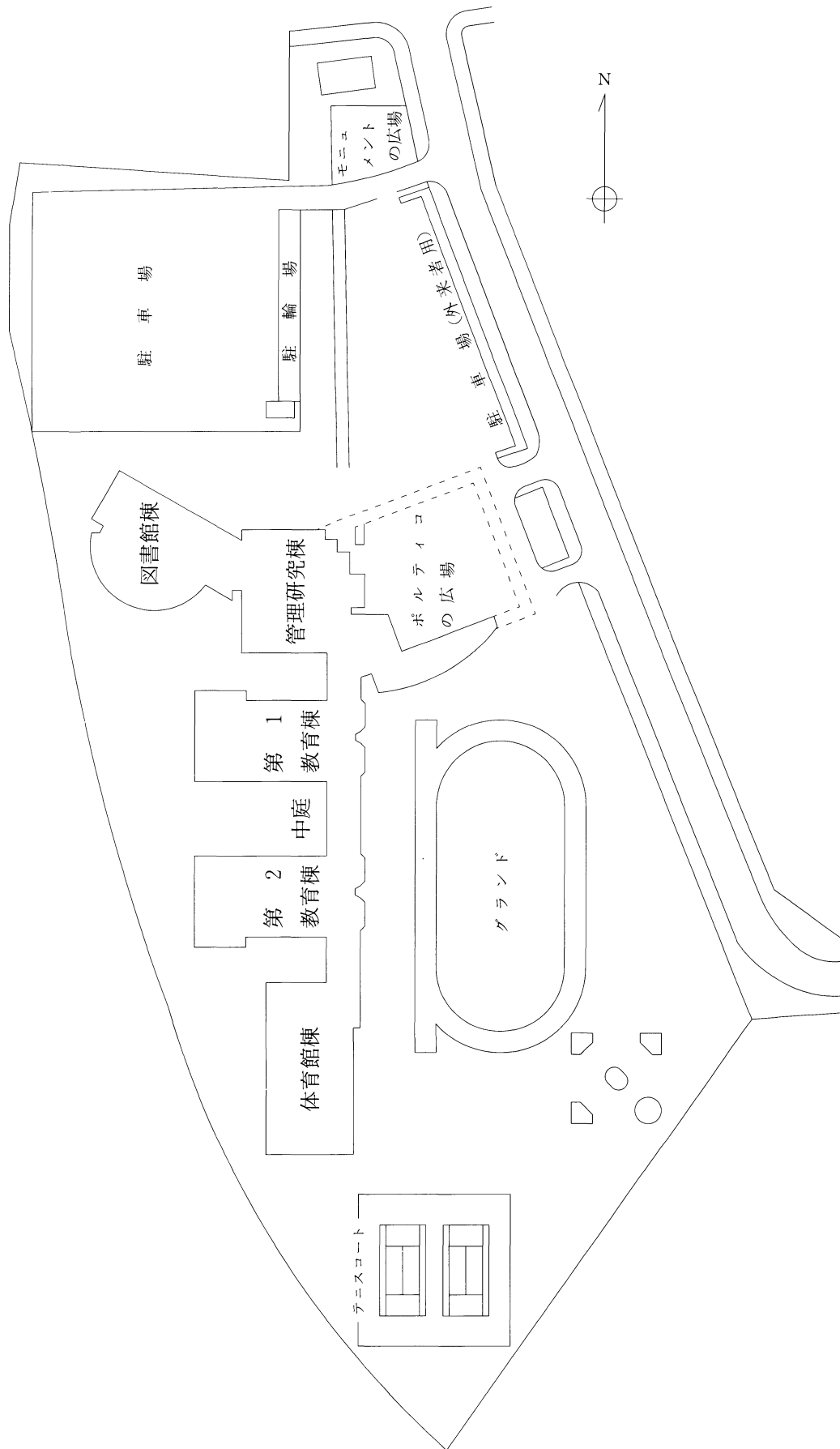
⑤ 図書委員会

- 第1回 (7. 4.20)
 - ・平成7年度図書の整備方針
 - ・開館時間の延長について
 - ・学外利用者について
- 第2回 (7. 5.29)
 - ・学外者の図書館利用について
 - ・購入希望調査について
 - ・見計らい図書の選定について
- 第3回 (7. 6.26)
 - ・学外者の図書館利用及び規程の改正について
 - ・購入希望調査の検討
 - ・図書館管理システムの方向性
 - ・全国図書館大会について
- 第4回 (7. 7. 4)
 - ・図書館コンピュータのバージョンアップについて
 - ・専攻科設置に伴う図書の購入について
- 第5回 (7.10.23)
 - ・蔵書点検の結果について
 - ・図書の購入状況について
 - ・定例休刊日の設定について
- 第6回 (7.11.28)
 - ・購入図書について
- 第7回 (8. 1.16)
 - ・購入図書について
 - ・利用案内の作成について
- 第8回 (8. 2.29)
 - ・図書館予算の執行状況について
 - ・平成8年度の開館時間の延長について
 - ・図書館装備について
 - ・平成8年度図書購入の基本方針について

⑥ 紀要委員会

- 第1回 (7. 4.12) ・紀要要項について検討
- 第2回 (7. 5.29) ・年報の構成について検討
- 第3回 (7. 7. 7) ・年報の内容検討
- 第4回 (7. 9. 8) ・年報の内容検討
- 第5回 (7.10. 6) ・年報発行
- 第6回 (7.11.16) ・紀要の表紙検討
- 第7回 (8. 2.29) ・紀要発行

校舎配置図



新潟県立看護短期大学の校章（平成7年3月6日教授会で制定）



新潟県立看護短期大学校歌

作詞 杉 みき子
作曲 後藤 丹

一 朝日にかがやく 妙高山が

生きてるよろこび 教えてくれた

風よ 並木よ みどりの広場

友と語れば 白衣の胸に

虹がうまれる われらの母校

二

この手のぬくもり もとめる人に
癒^いしと看^みとりの 思いをこめて

かかげるともしび 世界を照らす

その灯^ひをうけつぐ 白衣の胸に

あふれる愛こそ われらの誇り

三

ゆたかないのちを はぐくみながら
流れる関川 花咲く大地

歌よ こだまよ 羽ばたく鳥よ

あしたを抱いてる 白衣の胸に

かがやけ青春 われらの母校